



力をつける

今日の言葉

「これを教える！」
という覚悟をもって
子どもの前に立つ

平成29年7月13日

岡山型学習指導のスタンダード（授業ファイブ）

×

新学習指導要領解説総則編

岡山型学習指導の
スタンダード
(授業ファイブ)

① めあてを示す

② 自分で考え、表現する時間を確保する

③ 目標の達成度を確認する

④ 学習内容をまとめる

⑤ 授業の振り返りをする

教師が教える
明確な
発問・説明・指示

(新) 学習指導要領解説総則編

第1章 総説 1 改訂の経緯及び基本方針

p.4

(2)改訂の基本方針

③「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

ア 児童生徒に求められる資質・能力を育成することを目指した授業改善の取組は、既に小・中学校を中心に多くの実践が積み重ねられており、特に義務教育段階はこれまで地道に取り組まれ蓄積されてきた実践を否定し、全く異なる指導方法を導入しなければならないと捉える必要はないこと。

イ 1回1回の授業で全ての学びが実現されるものではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、学習を見通し(①めあてを示す)振り返る(⑤授業の振り返りをする)場面をどこに設定するか、グループなどで対話する(②表現する)場面をどこに設定するか、児童生徒が考える(②自分で考える)場面と教師が教える(?)場面をどのように組み立てるかを考え、実現を図っていくものであること。

カ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に課題がある場合には、その確実な習得を図ることを重視すること。

新学習指導要領解説を読んでみて、岡山型学習指導のスタンダード（授業ファイブ）と照らし合わせてみました。①～⑤の項目が一致していましたが、岡山型学習指導のスタンダードには教師が教える場面は位置付いていませんでした。教師が教えるとは、一方的に話すのではなく、発問や指示を交えて教師がリードしながら、学習内容を確実に習得させることだと私は考えます。私の過去の経験から考えると、教えることに臆病になり、考えさせることが大好きな先生が岡山県には多いのかも？と思ったのでした。
【文責：片山淳一】